

あさひヶ丘 230 キャンペーン実施中!

レジャーとしてゴルフに興じる人、競技としてのゴルフを追求する人、ゴルフの楽しみ方は、人によってさまざまです。

そしてゴルフには他のスポーツ同様、同じ条件で競い合うためのルールがありエチケットがあります。

それが守られてこそ、ゴルフは本当の意味で楽しいと言えるのではないのでしょうか。その楽しさを台無しにしてしまうひとつが、スロープレーです。のんびりと歩いたり構えてから打つまで何度も素振りを繰り返したり。

その結果が、往々にして後のパーティを待たせることとなってしまいます。わたしたちもコースメンテナンスの充実やサービスの向上など、スムーズにラウンドできるようさまざまな努力を重ねてまいります。

プレーヤーの皆様も、全体のプレーの流れを見極め、そのリズムを乱さないようご協力よろしくお願いたします。

ハーフを2時間30分で回ることを目指す230キャンペーンは、皆様の楽しいゴルフのために実施しております。

1 カートはグリーン奥の停止線まで

●あさひヶ丘カントリークラブのカートは、お客様に運転していただく自走式5人乗りカートです。カート道路のグリーン奥には、カートの停止線が表示されています。グリーンの手前ではなく、停止線まで進めましょう。

2 バンカーに入ったら

●あさひヶ丘カントリークラブはバンカーの数が多く、なおかつ深いバンカーも大きく口をあけてボールが入るのを待ち構えています。皆さんは、サンドウェッジのみを手に持ってバンカーにかけこんでいませんか？サンドウェッジだけではなく、ピッチングウェッジも一緒に持って試みてはいかがでしょうか。たとえば、「バンカーから出たけれどもエッジで止まってしまった」「少しグリーンオーバーしてしまった」「砂の少ないバンカーから出そう」など、セルフプレーではバンカーに入れても、次のショットでピッチングウェッジを使いたくならない場合が多いものです。わざわざカートにクラブを取りに行くのも面倒くさいですし、ぜひ、サンドウェッジと一緒にピッチングウェッジ、パターも持ってバンカーに臨みましょう。

3 ティーショットを打ち終わったら

●ティーショットで最後の打順の方、打ち終わったらクラブはキャディーバッグに入れず、保持したままカートに乗り込みましょう。なぜなら、2打目を打つため、キャディーバッグからクラブを抜きますので、その時にクラブを入れればいいからです。クラブをキャディーバッグに入れてからあわててカートに乗り込まなくてもいいですよ。

4 吹き流しを越えたら

●パー4、パー5のホールでは、レギュラーティーから230ヤード地点に吹き流しが設置してあります。230ヤード以上ドライバーが飛ばず飛ばし屋の方がいるパーティーでは、**混み合っ**

いる場合、前のホールのスコアに関係なく打順を代えてお打ちください。その方がたいへんスムーズにラウンドできますよ。

5 ラフに入ったら

●あさひヶ丘カントリークラブのラフの芝はきついことで有名です。ラフに入ったら、ライによつてはショートアイアンでしか脱出できないホールもあります。ぜひ、**8番アイアンもしくは9番アイアンも一緒に持って行ってください。**

6 気持ちよくラウンドするために

●ディボットには、必ず目土をお願いいたします。カートには目土袋が備えてありますし、コース内の随所に目土用の砂が配置されています。ご自分のディボットはもちろん、目土されていないディボットがありましたら**目土のご協力をお願いいたします。**

●グリーンにボールが落ちた時にできるボール痕をボールマークと言いますが、この**ボールマークを直してください。**グリーンフォークをボールマークの横に斜めに差し込み、中央に寄せてください。このとき、フォークで芝の根を切らないように注意してください。最後はパターを使って数回軽くおさえ、平に直します。

●ゴルフクラブの大型ヘッド化や飛ぶボールの登場など、日進月歩のテクノロジーの進化により、予想を超えて打ち込んでしまうケースがよく見られます。そんなときは、必ず**大きな声で「フォアー」と言いましょう。**隣のホールにボールをさがしに行くときも、人が打っていないかよく確かめてからにしましょう。安全のためだけではなく、快適ゴルフのためにも励行をよろしくお願いたします。

